

姓名
 死亡年月日
 死亡場所
 死亡原因
 備考

申告番号
 告が籍地
 有現住所
 所属部隊
 全前
 他部隊へ移転した部隊
 主計隊
 等級
 海軍主計士曹長
 氏名

昭和十三年九月四日

死者調書



本籍地

現住所

所屬部隊

入國年月

官等級

勤務概要

勤務概要

勤務概要

勤務概要

勤務概要

勤務概要

勤務概要

勤務概要

右全

海軍第五一師團

昭和十九年九月十五日

役種

軍

兵種

勤務概要

勤務概要

勤務概要

勤務概要

勤務概要

勤務概要

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

部隊

在 中 告 又

昭和二十一年 五月十七日

本 籍 地

現 任 所 右

所 屬 部 隊

氏 名

陸軍第五一師團 中隊 官等

入籍番號

工 員

備考

一 本調書ハ部隊長又ハ殘務取扱者等受地方復員局人事部長宛

通報スベキ責任者ニ於テ知得シテラスト認ムモノニ付記載ス

二 吳鎮在籍 特務士官 准士官 下士官 兵 付記載ス

三 同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス

四 知得シテハ範圍ニ於テ出外所得ル限リ詳細ニ記載ス

五 他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各當該欄ニ相半方ヲ記載ス

死亡確認書

一 死歿者不籍地

一 同官等叙天名

一 死歿年月日

一 死歿之因

一 死歿場所

昭和二十年七月四日

第二南遣

スラバヤ海軍運輸部

之海軍一軍兵曹

海軍二等兵曹

昭和二十年五月一日

戦死

シヤバ海

右確認書類製候也



3076

4661

死没者調書

所在地	氏名	生年月日	没年月日	没場所
所屬部隊	第九大砲隊	昭和十六年十一月二十三日	昭和十七年三月十日	召
官等級	機曹	氏名	生年月日	没場所
所在地	昭和十七年二月十六日	昭和十七年三月十日	昭和十七年三月十日	昭和十七年三月十日
勤務概要	昭和十七年三月十日	昭和十七年三月十日	昭和十七年三月十日	昭和十七年三月十日
疾病(受傷)年月日	昭和二十年三月十日	昭和二十年三月十日	昭和二十年三月十日	昭和二十年三月十日
病名(受傷部位)	昭和二十年三月十日	昭和二十年三月十日	昭和二十年三月十日	昭和二十年三月十日
死没時状況	昭和二十年三月十日	昭和二十年三月十日	昭和二十年三月十日	昭和二十年三月十日

昭和二十二年五月十一日午後七時 (入) 八ヶ岳山麓病院

右申告人

昭和二十二年一月十一日

申告者		
氏名	現住所	本籍地
氏名	第九大梅屋航空隊	右全
官等職	上等飛行員	大尉
勤務番號		

備考

- (一) 本調査、部隊長又ハ職務取扱者等ニ於テ其地方後援員局人事部長長宛通報ニ付、其現任地ニ付記載ス
- (二) 吳鎮在籍者、持務官官准主簿下主簿又ハ付記載ス
- (三) 同村縣人ハ勿論他村籍者身有、就テ之記載ス
- (四) 知得トシテ範圍ニ於テ出来得ニ限、詳細ニ記載ス
- (五) 他人ヨリ聞キテ承知トシテ事項ハ本調査欄ニ相手方ヲ記載ス
- (六) 送付先

吳市

吳地方後援員局人事部長宛

死歿者調書

[illegible]

石の通り承知し奉る。申すに、いまだ料を
心算せり。

民國三年六月十九日

申報 廣告 之	入籍番號	五級	生於國庫	氏名	
	本籍地				
	現住所				
	所屬部隊	夕島、第二海軍航空隊			

備考

一、本調書は死没者の身上関係一切を處理するものであるから、

慎重に且詳細に記入して下さい。

二 他人から聞か承知した事項は、其の旨末尾の餘白に記

$$K \rightarrow F_{\infty}.$$

631 14

現 認 證 明 書

第百三十三號 陸軍省 陸軍部 第六師 工員

一、受傷年月日

昭和三十年六月八日

二、受傷場所

頭蓋底骨折 腦損傷

三、死亡場所

セレス島方面

四、受傷状況

昭和三十年六月八日 某自衛隊軍需部員 某支隊長 命令係

同時海軍少尉

被撃下り方ガ市外テ合縣ヒシヨシ村月

部時傷大無庫

リガ合縣ヒシヨシ方面へ某支隊長 被撃地際陸

輸送隊所屬 偵察自動車

陸軍部員 被撃 三兵士 合縣運搬作業從事中

同日午前十時

某自衛隊軍需部員 被撃 被撃地 被撃地 被撃地

掛る道路幅

被撃地 被撃地 被撃地 被撃地 被撃地

自動車

被撃地 被撃地 被撃地 被撃地 被撃地

方面

被撃地 被撃地 被撃地 被撃地 被撃地

自動車

被撃地 被撃地 被撃地 被撃地 被撃地

トナルモ路幅狭き爲事、後補之、路迄約四丁度、右斜へ傾き急ぐ停車セシ
爲同乗者人々其激動より體中心より大上車より右側若石上轉落頭部
ヲ負傷セリ

右現認ス

昭和二十年六月八日

陸自海軍軍需部附

海軍少尉

死没者調書

本籍地

本籍地不明

現住地

第ニ八一海軍航空隊

所属部隊

役種

整備科

官等級

二等整備

氏名

[Redacted Name]

[Redacted Name]

[Redacted Name]

出生年月日

昭和十九年七月五日

死亡年月日

昭和十九年八月二十日

勤務概要

故人の勤務は整備科中隊高尾航空隊整備科として先任航空整備科に任ぜられた。昭和十九年八月二十日、高尾航空隊で飛行中に事故死した。死因は不明である。死後、家族は故人の遺体を回収し、故郷に運送した。故人は生前、家族を養育し、社会に貢献した。故人の死は、家族にとって大きな悲しみである。故人の死は、家族にとって大きな悲しみである。故人の死は、家族にとって大きな悲しみである。

疾病(受傷)年月日

昭和二十年六月二十日

病名(受傷部位)

有部隊被弾(出典不明)

死因(受傷)又ハ

飛行中に事故死した。死因は不明である。死後、家族は故人の遺体を回収し、故郷に運送した。故人は生前、家族を養育し、社会に貢献した。故人の死は、家族にとって大きな悲しみである。故人の死は、家族にとって大きな悲しみである。故人の死は、家族にとって大きな悲しみである。

昭和二十年六月二十日 正時五十五分 マダニ(ミヤノ島) 飛行場

大申告ス

昭和二十一年十月三十一日

申告者氏名	現住所	本籍地	所屬部隊	官等級	備考
		本籍地は同じ	第三一海軍航空隊	海軍中尉	

備考

- (一) 本調査部隊長又ハ殘務取扱者等ニ於テ吳地方復員局人事部長宛通報ス非ズト認ルモノニ付記載ス
- (二) 吳鎮在籍者、特務主官准主官、下士官兵ニ付記載ス
- (三) 同封縣人ハ勿論他封縣出身者ニ就テハ記載ス
- (四) 知得タル範圍ニ於テ出来得ル限り詳細ニ記載ス
- (五) 他人事關ヲ承知シタル事項ハ各當該欄ニ相手方ヲ記載ス
- (六) 送付先

吳市

吳地方復員局人事部長宛

61907

一昨一 本紙は新聞紙を運送城山より

學人館五郎の三八のローレ

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

本紙は新聞紙を運送城山より

學人館五郎の三八のローレ

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

昭和二十二年 月 日

107

359

軍属現況不明者調査書

派遣元艦又は船名	身 分	氏 名	生 年 月 日	本 籍 地
清福丸	船員	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
留守担当者	氏 名	姓 名	現 住 所	
	[REDACTED]	兄	本籍地に同じ	

家族の承知してゐる情況	
職 名 (司政官、船長、甲板員、船技手、船医、船主)	船員(傭人)
志願、用等の別、現地採用	定用(船長)
採用又は徴用年月日 (船員は船名及船主)	八三二四島根県松江市
内地出身年月日、場所 (又は船主)	八三月 高松市 清福丸
外地勤務の部隊名及場所	一二軍司令部 所屬 清福丸
本人からの最後の通信	送山日附 () 部隊符號 () 送附年月日 () 送附者印 () 内 容 ()
(一) 部隊長から何か通知があつたか	なにかあると云ふ事はない
(二) 送附者から何か通知があつたか	二六五バリも近頃は清福丸が改修を受けて同様に改修中である
(三) 其の他のどこから何か通知があつたか	はたしては、改修中である
(右通知した人)	[REDACTED]
昭和二十一年八月一日以前に其の後に米復しなればその理由	出た
家族渡受領の情況及取扱経理部	未受領
其の他究明上参考となるべき事項	

送附者からの情報	
提供年月日	昭和二十三年一月三十日
情報提供者	二六五バリ 船主
同右現住所	[REDACTED]
(一) 本人の時分	二六五バリは同業三十五歳で、同船長に近頃は、あつた
(二) 其の時の情	二六五バリは、あつた
(三) 同部隊名	一二軍司令部 所屬 清福丸
其の後の人本	死 因 戦傷死 年 月 日 二〇七三 場 所 八三二四島根県松江市 状 況 死
方行逃原年	四
不明者	原年
ばらばら	原年
作戦	原年
隊犯	原年
員者	原年
ばらばら	原年
本人の消息をよくしつてゐると思はれる者の住所氏名	
其の他究明上参考となるべき事項	

世 話	二六五バリは、あつた
資 材 及 所 見	二六五バリは、あつた

卷上 銅板

知縣民生部世諾

[illegible]

詞賦 吳地方復員部

死 亡 現 認 (確) 証 明 書

「裏面記載上の注意を見て書いて下さい」
(官に聞いて下さい)

※及び表面の各欄は記載に及びません又書き方がわからない点がありましたら致慮なく調査

愛知縣民生部世話課

資 料 提 供 者		死 亡 者 の 資 料									
死 亡 知 照 方 法	死 亡 提 供 者	遺 留 品 の 処 理	遺 骨 及 び 遺 骸 の 処 理	死 亡 諸 元					現 留 守 担 当 者 住 所 分	本 籍 地	所 属 部 隊 有 固 通 称
				死 亡 区 分	発 病 時	傷 病 名	死 亡 場 所	死 亡 日 時			
スラバヤ海軍運輸部 所屬伏和丸に軍属として 乗艦し、君の死を 現認す		なし	当方 部隊に保管	戦 病 死	昭和二十年七月九日 （時不明）	全身火傷	スラバヤ海軍病院	昭和二十年七月十一日	同 内 府 道 都		第一三海軍需部
死 亡 者 と の 関 係									容 度		面 局 区 地 ※ (戦)
同一船の機関長 責任者であつた											種 兵 種 役
											級 階 の 時 亡 死 軍 属
所 住 現				死 亡 当 時 の 状 況 及 び 参 考 資 料					名 氏		
スラバヤ海軍運輸部 工作部会計課 所屬 隊				スラバヤ港に機回整備中がソリタンク 爆発により全身の焼傷を負つたスラバヤ 海軍病院に治療し昭和二十年七月 十一日死亡 同日スラバヤ火葬場にて火葬し 部 隊 の 預 け た					年 月 日生		
隊 部 属 所									続 柄 (義 妹)		
階 級 氏 名											